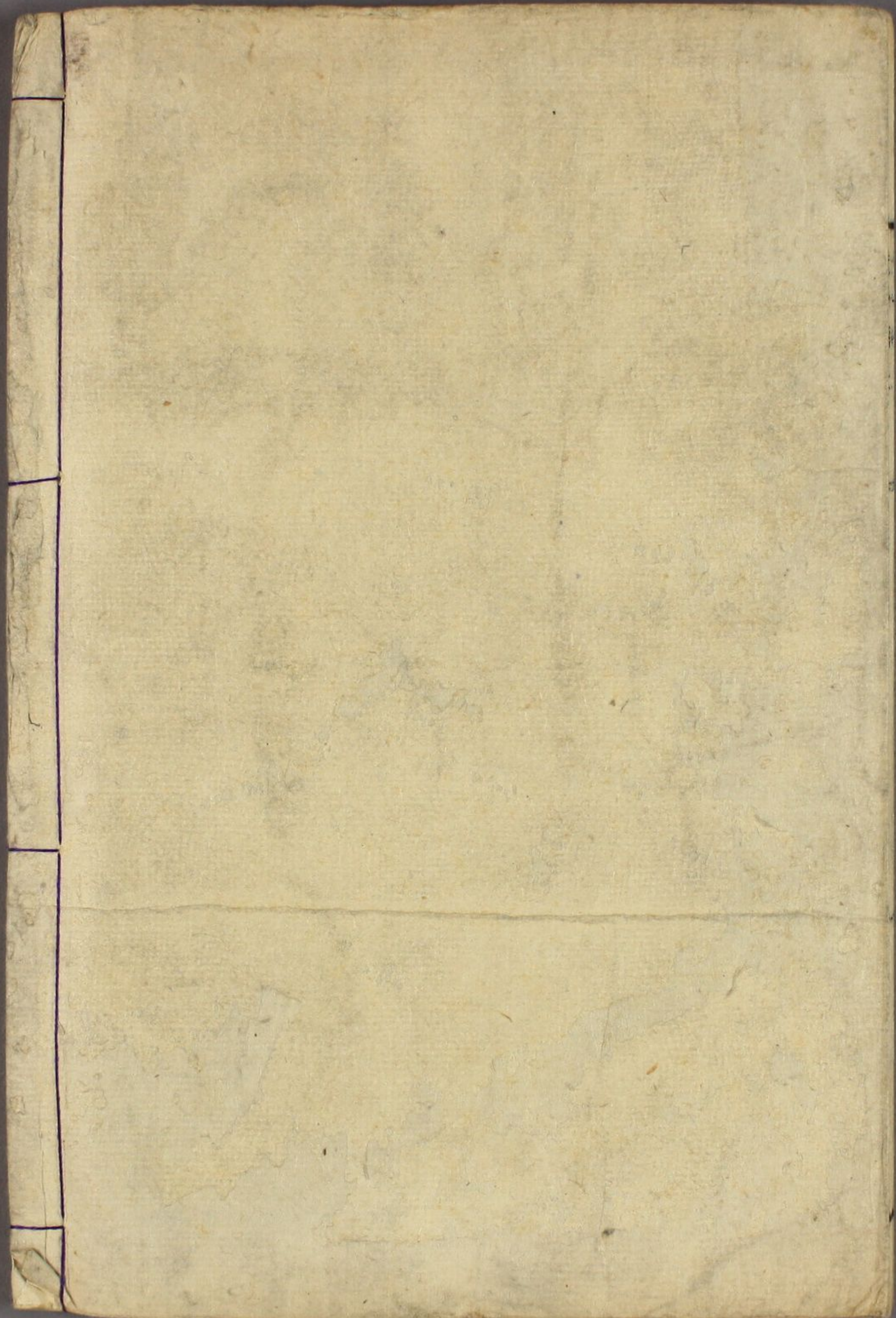


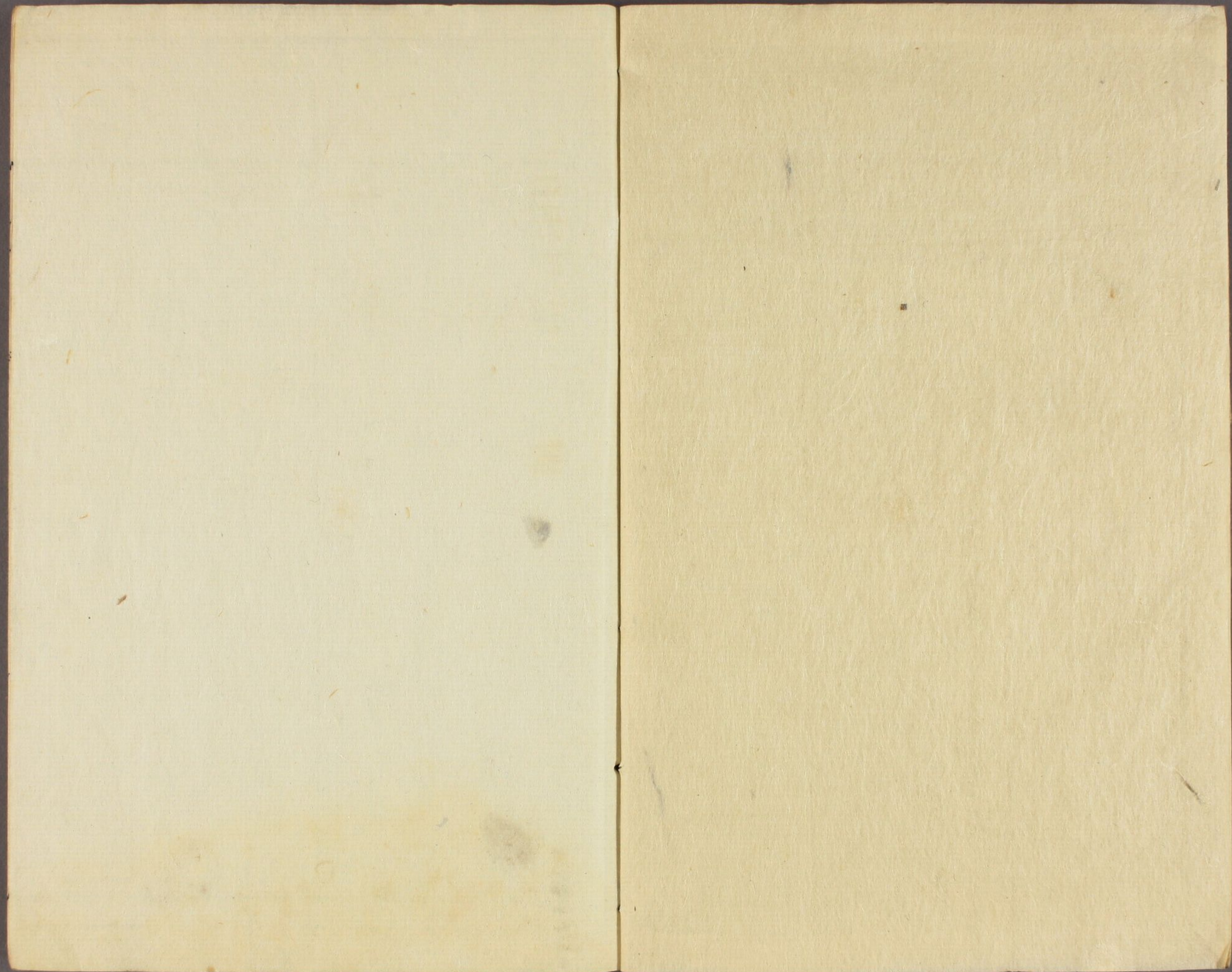
越佐歌集

下









越佐歌集四之卷

初冬

渋谷波平

葉のふも秋の初雨の山たろはききこふへききはまよらる

初冬時雨

遠藤経教

とさいはや秋の初雨の山たろはききこふへききはまよらる

初冬雪

神林完爾

えいさやほはくれ白きと算よけりまのふれお葉ちほもたらぬと

初冬落葉

後藤真菅

冬来ぬとさき告こふ風おかせよちりぬふいぬむのまお

海邊初冬

土屋賢継

あまのつゆをうけしるは秋のつゆにちかひてきたまひのゆき

残紅葉

山岸繁麿

風よ山乃もたきしはちかぬる哉ひりおらふやものほそ葉

ちりのこめいふみまは

石丸夏子

きりぎりす秋のがきも一枝とけふもみまのるををのれ

冬は歌の中よ

高野春栖

除きち山ふもころよふりりてあはれあはれ葉をみんば

残菊

井田瑞璞

あまのつゆをうけしるは秋のつゆにちかひてきたまひのゆき

田澤和理

あまのつゆをうけしるは秋のつゆにちかひてきたまひのゆき

白井廣江

あまのつゆをうけしるは秋のつゆにちかひてきたまひのゆき

石丸忠胤

あまのつゆをうけしるは秋のつゆにちかひてきたまひのゆき

原 宏平

あまのつゆをうけしるは秋のつゆにちかひてきたまひのゆき

本多朴民

あまのつゆをうけしるは秋のつゆにちかひてきたまひのゆき

岡村家久

冬、山霜

風きぬほろの山へりりてあて文を来しるき谷の陰をち

樵路霜

二宮孝順

柴人のあふがらうてつゆのほろを雪こもるあれをうら

大矢真弓

らゆら葉はほろのあをゆくねがらうてはほろをれぬま

山岸繁磨

又もあれおきわらうたるかきすうをねがらうてはゆ

橋上霜

大沼久賢

あかしの橋の上を霜がはらうてはゆをれぬま

りりゆゆのあをゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

長野長雄

旅人のあをゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

木枯

渋谷茂雄

ちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち

石丸忠胤

ちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち

寒樹

あつぬうちうちうちうちうちうちうちうちうちうちうち

谷寒草

二宮孝順

清き水は春の氷を融かす影の谷のほとけ

氷

北川義敬

氷の影にけしの水は清く流れて老れぬとわはせり

冬の歌の中よ

高野春栖

氷の影にけしの水は清く流れて老れぬとわはせり

池上氷

山岸繁磨

氷の影にけしの水は清く流れて老れぬとわはせり

冬月

高野一保

氷の影にけしの水は清く流れて老れぬとわはせり

大沼久賢

ついでにありてをゆくををあげておぼえよわはせり

河冬月

本間知常

冬川に氷をゆきわたるれいそ夜あけぬやがらむ

寒月

玉置清磨

月夜みおれぬ氷は清く流れて老れぬとわはせり

藤田元春

氷の影にけしの水は清く流れて老れぬとわはせり

寒月照梅花

土屋政寛

氷の影にけしの水は清く流れて老れぬとわはせり

千鳥

石丸夏子

凡そこの世に生れしものは皆死すべしと云ふは誠なる言なり

月前千鳥

菊池リウ子

ふもねのなごころもあはれなるあはれなるあはれなるあはれなる

海邊千鳥

永山盛輝

なごころのあはれなるあはれなるあはれなるあはれなるあはれなる

浦千鳥

野尻親信

甘きよなるお徳は妹うまきよなるおれがこころは浦のつらなり

水鳥

渋谷茂雄

ふみ川水のひもよまむし野をみればさるるさるるさるるさるる

河水鳥

原 宏平

あまのこころにうきとあまのこころにうきとあまのこころにうきと

淵水鳥

三國秀雄

山川は海濱のうきもあはれなるあはれなるあはれなるあはれなる

鴛鴦

北川義敬

たぐさあをふりたるもあはれなるあはれなるあはれなるあはれなる

網代

田中穂積

もりのこころにうきとあまのこころにうきとあまのこころにうきと

霽散

川村利貞

さゆはねのあまのこころにうきとあまのこころにうきとあまのこころにうきと

星野千芳

小おのり人けいさきおのり人をかやあまのまはれり

庭上霰

佐野さよ子

庭まきもちりあまのりかたあまのりあまのりあまのり

閑居霰

熊谷直基

るまりいひるるあはれあまのりあまのりあまのりあまのり

雪

原 宏平

あまのりあまのりあまのりあまのりあまのりあまのり

日野資徳

あまのりあまのりあまのりあまのりあまのりあまのり

土屋賢継

月元乃たらえんときらあまのりあまのりあまのりあまのり

初雪

阿部政一

あまのりあまのりあまのりあまのりあまのりあまのり

玉置清磨

あまのりあまのりあまのりあまのりあまのりあまのり

桂 重輔

あまのりあまのりあまのりあまのりあまのりあまのり

坂爪克輝

あまのりあまのりあまのりあまのりあまのりあまのり

佐藤素栄

閑居雪

飯田月印

ゆめつちほもとの下をまきつていふ人もまきつてのさびさ

窓前雪

石丸忠胤

あまのちやうこころをいかにけりまひのきれきをのぞりま
き原たれはあつこもきやうしよよひの反におとつれまき

名所雪

近藤幸止

あつちほもとのあいたのひまぬふりれたれおのれ
ま

長野長雄

あつちほもとのあいたのひまぬふりれたれおのれ
ま

社頭雪

石丸忠胤

あつちほもとのあいたのひまぬふりれたれおのれ
ま

松雪

猪俣正之

あつちほもとのあいたのひまぬふりれたれおのれ
ま

あつちほもとのあいたのひまぬふりれたれおのれ
ま

松上雪

永山盛輝

あつちほもとのあいたのひまぬふりれたれおのれ
ま

竹雪

原宏平

あつちほもとのあいたのひまぬふりれたれおのれ
ま

雪満衣

長野長雄

立出てんこい夜心ぬきよりやうつらあをたつちも衣

雪中鳥

日野資徳

夕さけい山へかきふむしむかゆくやまのいつこあらひ

雪中眺望

遠藤延春

冬那うらふをぬかすつらあたのまれをよるふら

雪中遠情

永山盛輝

九重にききおいはいさむみもあつらゑくはむ山

渋谷茂雄

あやうはぬきをらん車や出ぬむくは旅人そりよのあけ

夕鷹狩

廣田直雅

夕くれききゆるりぬみり人がふりせやまけつらひ

炭 竈

にきくふたはねりれきなをさゆけくんのなをたきか

新嘗祭

山岸繁麿

と池乃我をいつきそつらあはつらああらんあのみはな

豊明節會

あはれいせきあうらうあ人のほほ未らみきくめつら

早 梅

永山盛輝

夕に老れなまこもるし心那もくつる暮の津もあつたは

除夜

山岸繁磨

此のつらふよあなるわさつらまきいひまもつてひのまをてり

冬、曉

原 宏平

わらうくそもものまに月を照てあまもあつたれ形はむせ

冬、日

宇佐美安政

あゝこれいそがしき風よたそひわて甲のこわれの海ぬら

冬、船

近藤幸止

船もよとあつたありていよ中は船もあつたれよとれ川あ

越佐歌集五之卷

初戀

原 宏平

淀川に湖をまひてふきの名はるあつたはまのふくあつた

初言戀

星野千芳

思ふあつたをいふまじあれくはてあまのこふあつたから

不言戀

洪谷茂雄

秘名手の心もそくもぬれ袖くれいよあつたぬ谷の埋れ木

忍戀

水島濤痕

恋しきまふこをそ思ふなれもひまもあつた物もあつたは

大沼久賢

おのちの世にわかれぬは海にまかせて思ふ限りるは

星野千芳

うらやまの心はなほおもひのこりてはなほなほ

小林門平

もはなほ心はなほおもひのこりてはなほなほ

坂井綱長

聞戀

人傳に聞しそらも現はなほおもひのこりて

法谷茂雄

せむしき心はなほおもひのこりてはなほなほ

石丸忠胤

人傳聞戀

思ひてはなほおもひのこりてはなほなほ

法谷茂雄

未見戀

思ひてはなほおもひのこりてはなほなほ

山岸繁磨

見夢戀

思ひてはなほおもひのこりてはなほなほ

法谷茂雄

見不逢戀

思ひてはなほおもひのこりてはなほなほ

北川義敬

思ひてはなほおもひのこりてはなほなほ

坂井綱長

祈戀

いづれの折も思ひつゝのなほ思ひつゝのなほ思ひつゝ

契行末戀

日野資徳

あはれおぼえたりかきあはれおぼえたりかきあはれおぼえたり

不逢戀

石丸忠胤

あはれおぼえたりかきあはれおぼえたりかきあはれおぼえたり

久不逢戀

川村利貞

あはれおぼえたりかきあはれおぼえたりかきあはれおぼえたり

寺山範智

あはれおぼえたりかきあはれおぼえたりかきあはれおぼえたり

恋れ歌の中よ

高野春栖

あはれおぼえたりかきあはれおぼえたりかきあはれおぼえたり

絶不逢戀

近藤幸止

あはれおぼえたりかきあはれおぼえたりかきあはれおぼえたり

恋の歌れ中よ

日野資徳

あはれおぼえたりかきあはれおぼえたりかきあはれおぼえたり

難逢戀

土屋政寛

あはれおぼえたりかきあはれおぼえたりかきあはれおぼえたり

待夕暮戀

齋藤文七郎

あはれおぼえたりかきあはれおぼえたりかきあはれおぼえたり

待空戀

淡谷茂雄

くさくさにささげのうらみはなほおもひのこりて

歎名戀

なまけのしほのまはるるはなほおもひのこりて

顯戀

ふたふたのうらみはなほおもひのこりて

原 宏平

あなごころのうらみはなほおもひのこりて

石丸忠胤

あなごころのうらみはなほおもひのこりて

あなごころのうらみはなほおもひのこりて

佐藤素榮

はつとたふれはなほおもひのこりて

舊戀

原 宏平

あなごころのうらみはなほおもひのこりて

一夜のうらみはなほおもひのこりて

小島 清

あなごころのうらみはなほおもひのこりて

隔二夜戀

伊東由松

あなごころのうらみはなほおもひのこりて

あなごころのうらみはなほおもひのこりて

日野資徳

あなごころのうらみはなほおもひのこりて

思煩戀

山岸繁磨

かよちあゝなほはれはのぬぬのねねねあまふ恋とまらぬ

忘戀

経年戀

三國秀雄

こまろくとらあゝ恋はなほなほなほなほなほなほなほ

くせなぬらひのさしそなはなれははなほしひのあはれ

月下戀

飯野直枝

くらよゝめたかたはつたつたつたつたつたつたつたつた

後朝戀

原 宏平

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

暁戀

星野千芳

妹。あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

夕戀

石丸忠胤

いせあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

夏戀

山岸繁磨

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

夏待戀

永山盛輝

友のねらみーあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

形見戀

伊東由松

かたがらあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ

馬車上戀

石丸忠胤

うしろの馬車の上を歩くと
おぼろげな月影が
おぼろげな月影が

寄月戀

白井章

おぼろげな月影が
おぼろげな月影が
おぼろげな月影が

石丸忠胤

おぼろげな月影が
おぼろげな月影が
おぼろげな月影が

二宮孝順

おぼろげな月影が
おぼろげな月影が
おぼろげな月影が

坂井綱長

おぼろげな月影が
おぼろげな月影が
おぼろげな月影が

寄橋戀

佐藤素栄

おぼろげな月影が
おぼろげな月影が
おぼろげな月影が

寄瀧戀

日野資徳

おぼろげな月影が
おぼろげな月影が
おぼろげな月影が

寄江戀

小林勝次郎

おぼろげな月影が
おぼろげな月影が
おぼろげな月影が

寄門戀

星野千芳

おぼろげな月影が
おぼろげな月影が
おぼろげな月影が

寄木戀

本多朴民

おぼろげな月影が
おぼろげな月影が
おぼろげな月影が

桂 祐忠

大矢真弓

廣田直雅

寄蟬戀

法谷茂雄

寄弓戀

細川玖瑠

寄扇戀

越佐歌集六之卷

日

石丸忠胤

夕陽映島

高野雅業

朝

石丸忠胤

夕

道

越佐歌集

〇六九

こも抱きまよふかた思ふかたぬたのほろろさういこもち

日野資徳

きりさくしよらなほさくしよらに十はちまうんちまうあむむ

小島 清

奮 都

えいなるうほえおつふちや山ありしおのむうぬびて

本多朴民

仙洞御所のみまよま

まきぎをのふ内國おねんこむのをともれあそおれる

石丸忠胤

耳無山より

ふあはゆ代たるととてはほもああらさひ耳の山

本多朴民

布引瀧

つからやおとたれをみゆ代あまこねりあぬ布川の流

柄澤榮久

河水久澄

君ら代を来とまらうまらういゆ遠なるくまえりふ

土屋賢継

四海清

りるふ波のつらまむほれつらあれそとあまらふれ

小林勝次郎

海上眺望

うちわい佳波うまお根いそまをてうし源くも凡のあり

小林門平

新潟眺望

みるの浪争ふまふお波こらうらわすふさくら山

大和國十景おち草谷暮鐘を

石丸忠胤

人の心を動かすはまの世の心持をいかにせんか
あはれなき世に

開中燈

古きをよしの世にあらはれし世の心持をいかにせんか
あはれなき世に

草庵雨

はるかにしるしの世にあらはれし世の心持をいかにせんか
あはれなき世に

本多朴民

かゝる世にあらはれし世の心持をいかにせんか
あはれなき世に

田家畑

高野雅業

あはれなき世にあらはれし世の心持をいかにせんか
あはれなき世に

田家雨

中村正彦

あはれなき世にあらはれし世の心持をいかにせんか
あはれなき世に

山家水

長野長雄

あはれなき世にあらはれし世の心持をいかにせんか
あはれなき世に

石丸忠胤

あはれなき世にあらはれし世の心持をいかにせんか
あはれなき世に

山家流水

高野吉久

あはれなき世にあらはれし世の心持をいかにせんか
あはれなき世に

山居

石丸忠胤

あはれなき世にあらはれし世の心持をいかにせんか
あはれなき世に

久々おとけ中川にゆりてんなな東路に深そとるをき

二宮孝順

尾川新まじつて新くおはれのもはれおれ

旅友

越上杏齋

旅なつてはつたはつたをきつたはつたはつたはつた

はじめて東京よおをりてはつた

渋谷茂雄

かつたはつたはつたはつたはつたはつたはつた

信濃國諏訪の驛よりて 高野吉久

まはれの海にけしき夕よあふたつたはつたはつた

田子の浦よそよみきな

ちたるのちたれけい田よの浦よそよみきな

陸前國久の濱よりて 日野資徳

水曾路をへて京都よみほつたはつたはつた

旅のやもつたはつた 山宮基道

ちたつて集のちたつて集のちたつて集のちたつて

久く旅よあつたはつたはつたはつた

ちたつて集のちたつて集のちたつて集のちたつて

かきつて集のちたつて集のちたつて集のちたつて

海邊松

石丸忠胤

かみかきまのうみを渡る松の影をたもつて
松不改色

とていかにあつた松の影をたもつてあつた松の影
松不改色

松有喜色

田澤和理

はらけりは代をうらむ松の影をたもつてあつた松の影
松有喜色

松澤正苗

ふ代をうらむ松の影をたもつてあつた松の影
松有喜色

山岸七郎

あつた松の影をたもつてあつた松の影
桂 祐忠

桂 祐忠

あつた松の影をたもつてあつた松の影
松経年

松経年

長野長雄

あつた松の影をたもつてあつた松の影
庭 松

庭 松

田中穂積

あつた松の影をたもつてあつた松の影
加藤きよ子

加藤きよ子

あつた松の影をたもつてあつた松の影
水 蔥

水 蔥

山宮基道

このおけ門のあまのついでにふたつたのふゆの
蟹 原 宏平

様よのこをりあたるまのふゆのふゆのふゆの
暮林鳥 土屋賢継

夕日おちておのこをりあたるまのふゆのふゆの
放鳥 石丸忠胤

せとくをりあたるまのふゆのふゆのふゆの
晴天鶴 野上敬齋

とくをりあたるまのふゆのふゆのふゆの
土屋政寛

このおけ門のあまのついでにふたつたのふゆの
朝鶴 永山盛輝

おののふゆのあまのついでにふたつたのふゆの
石井長幸

おののふゆのあまのついでにふたつたのふゆの
寺山政寛

おののふゆのあまのついでにふたつたのふゆの
名所鶴 原 宏平

おののふゆのあまのついでにふたつたのふゆの
鷺 原 宏平

おののふゆのあまのついでにふたつたのふゆの
牛 石丸忠胤

折るのしるしをすめば

山宮基道

よる人として諸國を治る者ありしにありては其の徳ありしを
たはむる道にありて神の世にありては其の徳ありしを

石丸忠胤

おころし神のよきまをばらばらとてをくくくをばらばら
まをばらばらとてをくくくをばらばら

明治元年七月官軍と新潟の戦ひに上杉

方破れよきまをばらばらとてをくくくをばらばら

おころし神のよきまをばらばらとてをくくくをばらばら
視察を刺殺とていひてをくくくをばらばら

西南方

軍のしるしをすめば

しるしをすめば

思ふ昔ありしをすめば

しるしをすめば

靈能真柱とて書をばらばら

しるしをすめば

玉のしるしをすめば

しるしをすめば

古史本経とて書をばらばら

しるしをすめば

或女よかきりて

大瀧 晋

あなをよのこころふもきほひぬらむをいそぎのまいたるは

歎 老

石丸忠胤

おもひたるをたはひのぬかひをかたむきぬらむのうらみさ

夢

水島濤痕

世の中のひのあききもたゆりぬらむつらむきとてとて

往事如夢

石丸忠胤

はくしとるきぢのあつてのこころはゆきまのゆきま

懐 舊

須藤圓位

ぬらむよのあつてのぬらむのぬらむのぬらむのぬらむ

高野吉久

あなをよのこころふもきほひぬらむをいそぎのまいたるは

春懐舊

本多朴民

あなをよのこころふもきほひぬらむをいそぎのまいたるは

夏懐舊

小島 清

あなをよのこころふもきほひぬらむをいそぎのまいたるは

慶應三年五月兄菅重うやまありしは

あなをよのこころふもきほひぬらむをいそぎのまいたるは

各五十杉園より夕まんとて石丸忠胤

あなをよのこころふもきほひぬらむをいそぎのまいたるは

去年の秋をいそぎのまいたるは

あまのついでにこゝろをたはらむにたの國よぬをらん
あらの

七日をうりまゝにまはり

いづれをむしりておぼしきあはれをうりてかきまゝにまはり

明治十六年五月四日をうり二男光胤う

あまのついでにこゝろをたはらむにたの國よぬをらん

あまのついでにこゝろをたはらむにたの國よぬをらん

あまのついでにこゝろをたはらむにたの國よぬをらん

あまのついでにこゝろをたはらむにたの國よぬをらん

あまのついでにこゝろをたはらむにたの國よぬをらん

あまのついでにこゝろをたはらむにたの國よぬをらん

はうりまゝにまはり
渋谷茂雄

あまのついでにこゝろをたはらむにたの國よぬをらん

あまのついでにこゝろをたはらむにたの國よぬをらん

あまのついでにこゝろをたはらむにたの國よぬをらん

あまのついでにこゝろをたはらむにたの國よぬをらん

新潟郡に招魂社へ詣りて

山宮基道

あまのついでにこゝろをたはらむにたの國よぬをらん

武者喜澄

よひまや極ふまの擧めおまの大海のこゝろをさしめな

石丸忠胤

の上は清きまのまのこゝろをさしめおまのこゝろをさしめ

日本武尊

ええまの神をさしめおまのこゝろをさしめおまのこゝろを

淡路廢帝

日野資徳

淡路のまのこゝろをさしめおまのこゝろをさしめおまのこゝろを

新田義貞

永山重思

みまのこゝろをさしめおまのこゝろをさしめおまのこゝろを

楠正成

廣田直雅

おまのこゝろをさしめおまのこゝろをさしめおまのこゝろを

石丸忠胤

みるも川へぬまの下の水もさしめおまのこゝろをさしめ

兒島高德

永山盛輝

極めをさしめおまのこゝろをさしめおまのこゝろをさしめ

猿丸大夫

渋谷波平

おまのこゝろをさしめおまのこゝろをさしめおまのこゝろを

紀貫之

清水廣博

かゝるまのこゝろをさしめおまのこゝろをさしめおまのこゝろを

桂重輔

か那てきくみまはるるにふく人の袖まてぬらつる

大和魂

石丸忠胤

勾ふちるるを勤うめらるるをたはるといふれ

石塚久造う歌こひわれの堪忍とふを題まて

たへ忍ふられまほるるはたはあやういといふ

勉強

桂重輔

國のいあそふまはるるにせりまはるるいひむるるあくま

人

關根謙三

て他のきあかぬ中へまはるるはるるあふちるる

石丸忠胤

いふたはるるにふくあふれ人のちせのの神をむまはるる

君

あふちるるをまよの國のまよのまよのまよのまよのまよの

君臣有別

君のまよのまよのまよのまよのまよのまよのまよの

君恩

あふちるるにふくあふれ人のちせのの神をむまはるる

海士

本多朴民

まよのまよのまよのまよのまよのまよのまよの

軽業といふものをまて

吉田正隆

那へて言ふかきそまふれ一まらぬるたはるをせしむ

懲役人 日野資徳

才の程まづゆなるもつた人のまは袖あけのまよふ心

貧者 石丸忠胤

きみといふあまとの心てあむのひらきをせをさるるれ

神祇

あつをけういふそふ眼よむぬ神のまゝあせりれ

社頭鶴 野尻親信

ふまふ神のつたのわいぢりて代たぬまをさるるれ

社頭松 土屋賢継

神はよおさきそめて信のむは浦ねのま代よふおは

社頭杉 石丸忠胤

さうたては丸まのたまてありしまゐの程をさるれ

宗忠神社

むれ神のまはへあ。世のちよあらわれ出し神そまの神

延喜式内相原神社よまうて

柄澤榮久

ゆいけい志しやうのた大神のまゝるるあけり人

神社よ鳥居を奉りけはくよまゝ

やうさるる 石丸忠胤

寄都祝

寄都祝

永山盛輝

寄國祝

寄國祝

柄澤榮久

寄道祝

寄道祝

二宮孝順

寄世祝

寄世祝

高野雅業

寄花祝

寄花祝

石丸忠胤

寄水祝

寄水祝

石丸忠胤

寄衣祝

寄衣祝

石丸忠胤

Handwritten cursive text for various '寄' (dedication) sections, including names like 佐藤素栄, 岡村家久, 難波政五郎, and 石丸忠胤.

此の世に八子代のある。おのれはふはる衣やへさかて

寄松祝

長野長雄

是の代のおはるはかきぬあらまゝのむすひのむすひを

星野千芳

弟代といふ夢をいかにかたむけしるは山のかきぬ

白井廣江

おん、おん大なるおのれはかきぬのむすひを

寄社頭祝

村田徠八

位はの御社のおはるはかきぬのむすひを

をさかき子を祝ひていひまゝに

小林勝次郎

琢る玉を瓦とすぬくよのよのよのよ

明治九年九月長男賤男を生れけし

石丸忠胤

國のおはるはかきぬのむすひを

廣川真弘六十の賀と春祝とりふ

を人くよよませうはよ 山口真直

おんのおはるはかきぬのむすひを

會津の畠山宣九六十の賀と陸奥の寄

名所祝の歌はかきぬを

老の波りまにさきかたむしむ末ふ川のなれつきせほ
 或人の七十は賀ふ 星野千芳
 ちやれまおとくめよ引うるう ねらふ君らふ代は友をれ
 新 誓 渋谷茂雄
 尊たやうはも程めりあはて神のくはくふ代のちまの
 世治文事興 二宮孝順
 浪みぬは代いたさびてもさるるの海よかやあつむ
 幸逢太平代 佐木存義
 戎るきうあほひくうれおつしは代の七重よあはれ
 美

越佐歌集作者姓名録

姓名ハ上段ヨリ下段ト
 次々讀ミ給ヒテヨ

在新潟薩摩人 新潟縣令正五位 全上越前人	永山盛輝 全上伊勢人 新潟縣大書記官從六位 全上薩摩人	近藤幸止 全上伊豫人 家号五十杉園 全上	石丸忠胤 全上 忠胤男十歳	石丸賤男 全町 資徳弟	日野資徳 全町 通称仲藏	日野範智 全東堀通三番町	寺山範智 全東堀通三番町	北川義敬 全東堀通三番町	新 喜太郎 全東堀通三番町	前山 祐 全東大畑通壹番町 通称熊太郎	飯野直枝 全東大畑通壹番町 通称熊太郎
----------------------------	--------------------------------------	-------------------------------	---------------------	-------------------	--------------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------------	---------------------------	---------------------------

全寄居町	全上大川前通五番町	全村 延春男	全直江津町 通称弥九郎	中魚沼郡十日町村	刈羽郡横澤村 通称權三郎	全石地村 家号毛匣舎	全宮平村 通称孝太郎	高野春栖	高野吉久
小林門平	山内岩藏	遠藤義雄	石井長幸	佐伯正幹	山口真直	山岸繁磨	高野春栖	小林勝次郎	高野吉久
全醫學校町通	中頸城郡岡田村	全上下濱村 通称喜太郎家号立川舎	東頸城郡安塚村 全郡長	全高島村	全武石村 号難濤	全大久保村	全村 通称市太郎	難波政五郎	高野吉久
内田和子	遠藤延春	佐藤素榮	清水廣博	野上敬齋	野上敬齋	野上敬齋	野上敬齋	野上敬齋	野上敬齋

全村 通称武市郎	全廣田村	全長岡町 通称喜平次	全道半村 通称亮平	全村	全町	全村	全燕町	高野雅業	岡村家久
神林莞爾	土屋政寛	水島濤痕	田卷有秋	後藤春藏	大矢眞弓	玉橋兼之	王橋兼之	本爻朴民	本爻朴民
古志郡上野村	三島郡上桐村 通称左吉	南蒲原郡田上村	全三條町 通称多七	西蒲原郡弥彦村	全地藏堂町 通称半四郎	全曾根村	全曾根村	柄澤榮久	柄澤榮久
岡村家久	本爻朴民	阿部政一	星野千芳	大原龜治	山宮基道	渡邊貞三郎	渡邊貞三郎	阿部政一	阿部政一

全梶屋敷村	全八王子村 通称三郎次号瓜堂	全金卷村 通称寅平	中蒲原郡田家村 通称上枝	全村松町	全新津町 通称虎三郎	全町	全村
木島喜左門	本宮正嗣	川村利貞	桂重輔	松澤正苗	坂爪克輝	小林寛出	北條和太
全松橋村	全村 通称亀太郎	全村 号春渚	在葛塚筑前入	全町	全五泉町	全酒屋町村	全茨曾根村
細川玖瑠	熊谷直基	大瀧 晋	村田徠八	吉岡福藏	大竹吉裕	阿部謙道	關根謙三

全村	全九山村	全金津村	全古川村 通称實入	全大關村	全町 通称藤三郎	全金子新田 通称俊藏	越左歌集
井田瑞璞	新見太忠太	坂井綱長	田澤和理	武者喜澄	本間知常	遠藤經教	澀谷茂雄
全村	全上野村	全古田新田 通称千工磨	全袋津村	北蒲原郡新發田町	全本村	全蓮瀉興野村	全横井村 通称新三
井田とら子	轡田恒三	桂 祐忠	山岸七郎	原 宏平	大沼久賢	二宮孝順	澀谷波平

全大迎村	後藤多義雄	全岡島新田 通称健太	關川常昭
全保田町	荻野重平	全石喜新田	山口久敬
全本郷村	齋藤文七郎	全西裝口村 通称周喜智	坂井信義
全黒川村	箆平武	全笹岡村	前田十雨
東蒲原郡谷澤村寓岩代人 通称乙之助	永山重思	岩船郡瀬波町 通称加納	吉田正隆
全村上町	森脇正恒	雑太郡宮浦村	廣田直雅
全村	廣田真重	全村	佐野守義
全村 守義妻	佐野さよ子	全村 守義女	佐野さち子

全江戸澤村	小島清	全貝塚村	田中穂積
全村 穂積妻	加藤きよ子	全後山村	越上杏齋
全村	高野一保	全鹿伏村 通称小太郎	河野脩
全村 脩女	河野のふ子	加茂郡瀨上村 通称一九家号此君堂	土屋賢継
全村 家号卧雲庵	飯田月印	全椎泊村 通称賢阿	須藤圓位
全村 通称浦津	猪俣正之	全村 通称由松	伊東奥常
全村 通称弥三右門	宇佐美安政	全吉井本郷 通称覚浄	長野長雄
全大和村 通称瑞軒	加藤清孝	全村 清孝妻	菊地りう子

越佐歌集

〇九十三了

全武井村	玉置清磨	全湊町	中村春彦
全城腰村 通称五郎次	三國秀雄	全村 通称一作	後藤真菅
全西尾村	白井章	全村	川口千隈
全村 通称五郎右門	白井廣江	全村 通称新十郎	渡邊篤行
全村 通称藤内	毛原常俊	全立野村	小島豐磨
全村 通称森平	野尻親信	全村	藤田元春
全村 通称民藏	佐木存義	全歌代村	仲川長次
通計百二十四人			

飯工貫明軒

明治十八年十二月廿日御届
十九年一月十六日出版

定價金六拾五錢

編輯兼出版人 石丸忠胤

愛媛縣平民
新潟縣新潟區東堀通十二番町三三番地寄留

發兌所 新潟區東堀通十二番町 玄同舎

賣弘書肆

全 東中通壹番町 小林二郎
全 古町通六番町 佐藤庄八
全 五番町 片桐賢三
全 二番町 井筒屋駒吉
全 本町通六番町 寺井巨平
全 七番町 吉川成造
全 八番町 堀川治作
全 東堀通五番町 林富吉

加茂新田	高橋文作	加茂	小池清廣	佐野喜平治
沼垂	田邊善作	同	九山音八	新發田
長岡	松田周平	与板	關東屋五右衛門	東京目本橋通二丁目
同	鳥屋十郎	燕	長沼屋治太郎	同
同	上田屋治平	白根	仲村屋忠右衛門	同本町三丁目
同	大橋新太郎	新津	坂爪巖太	同淺草廣小路
水原	島屋六平	村上	近江屋又四郎	同芝三島町
葛塚	三條屋七十郎	中條	村山長太郎	同南傳馬町二丁目
高田	藤屋直三郎	太浦	磯谷健治	京都姉小路六町
同	本田屋勝太郎	柏寄	高桑屋小平	同新町三條上町
同	高野松四郎	地藏堂	伊丹屋藤吉	大坂心齋橋北太町
同	小方長吉	酒屋	高木仙三郎	同唐物町北へ入
三條	樋口屋小左衛門	佐州相川	九岡總四郎	同本町北へ入
越佐歌集			二冊	既刻
同			二冊	近刻